



## 大勢の来場者でにぎわう

### 第6回中尊寺通りホコ天まつり

中尊寺通りホコ天まつり(平泉商工会主催)が10月4日、中尊寺通りを会場に開催されました。このイベントは無量光院跡北側から高館義経堂入り口まで約200mの区間を歩行者天国にし、整備が進められている同通りを町民や観光客が訪れる魅力ある商店街とするため企画されました。

通り沿いはテント出店が並んだほか、路上ステージでクラブス平泉などのパフォーマンスが行われ、会場は詰めかけた大勢の来場者でにぎわいました。



①来場者でにぎわう中尊寺通り／②盛り上がりを見せた路上ステージ／③祇園子ども獅子舞／④クラブス平泉のチアパフォーマンス

## 木に触れ森林の大切さを学ぶ

### 平泉古事の森育成事業

文化財の修復作業に使う木材の確保や森林保全に取り組む「平泉古事の森育成事業」(平泉古事の森育成協議会主催)が10月8日、長島小学校の5年生を対象に開催されました。

同事業は例年、奥州市内の国有林で町内と奥州市衣川地区の小学校が合同で開催していましたが、本年度は各小学校ごとに屋内での実施となりました。

児童たちは、森林教室やヒバの丸太切り作業、木の年輪を数える体験を通して森づくりの大切さを学びました。



## 夕暮れ時の交通事故防止へ

### ライトの早め点灯運動

10月19日、町交通安全対策協議会の主催で薄暮時の交通事故防止を呼び掛ける「ライトの早め点灯運動」を国道4号平泉バイパスで実施しました。

開会式で青木町長は「今年は町内で死亡事故が相次いでいる。これ以上死亡者を出さないためにも家庭や地域でも呼びかけてほしい」とさいさつし、参加者は「ライト点灯は早目に」や「今日も一日交通安全」などが書かれたのぼりをドライバーに見えるように掲げ啓発活動をしました。

## 国保事業の健全な運営に寄与

### 小野寺正輝さんが県国保団体連合会表彰

平泉町国民健康保険運営協議会委員の小野寺正輝さん(ひらいずみ内科クリニック院長)が、岩手県国民健康保険団体連合会理事長表彰を受賞され、青木町長より表彰状が伝達されました。

小野寺さんは、平成16年1月から今日までの16年余りにわたり、平泉町国民健康保険運営協議会委員(医師代表)として、当町の国民健康保険事業の健全な運営に寄与され、その功績が認められ今回の受賞となりました。



## 県に支援と協力を要望

### 県南広域振興局と意見交換

9月18日、青木町長、高橋町議会議長らが奥州市の県南広域振興局を訪れ、県と意見交換を行いました。

町が事前に提出していた要望書の19項目について県に対し支援と協力を要望。▶平泉バイパス南口交差点から一関バイパス大槻交差点までの安心・安全な交通確保を図る整備▶一関北上線および県道相川平泉線の道路改良事業▶世界遺産10周年に向けた支援の一の3項目を重点的な取り組みを求める事項として青木町長が県に説明しました。

## 故郷を離れ頑張る学生を応援

### 学生応援地域産品給付事業

町が新型コロナウイルスの影響で困難な状況にある町出身の学生を支援するため、地域の特産品などを届ける「学生応援地域産品給付事業」の第1便を9月24日に発送しました。

平泉郵便局で荷物を手渡す青木町長は「地域の品物を届けることで幾らかでも学生の助けになることを願い、古里のぬくもりを感じてほしい」と話していました。箱の中身は▶金色の風のバックご飯▶平泉産の自然薯が入ったうどんとそば▶リンゴジュースーなど長期保存ができる品物です。



## ふるさとの祭りを語ろう特集

### 岩手日日新聞社より協賛金の寄付

9月24日、岩手日日新聞社の下村裕之局長らが町役場を訪れ「ふるさとの祭りを語ろう特集」の企画で集めた協賛金の一部を感染予防対策に役立ててほしいと寄付されました。

この企画は、新型コロナウイルスの影響で開催を中止、または通常の開催ができなかった地元のお祭りを新聞紙面の広告スペースをすべて使い写真と特集記事・地域の人たちから募集したメッセージを掲載した企画。当町からは、春の藤原まつりや平泉水かけ神輿について掲載がありました。

